

令和 2 年度第 3 回デ活シンポジウム

「大規模集客施設における防災力の向上を考える」

日時：2020 年 12 月 18 日（金）15:00～17:10

場所：オンライン開催

はじめに

下村 健一（令和メディア研究所主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元 TBS キャスター）

これから令和 2 年度 3 回目のデータ利活用シンポジウムを開催します。3 カ月に 1 回、いろいろなテーマでお送りしていますが、今回のテーマは「大規模集客施設における防災力の向上を考える」ということで約 2 時間、皆さんと議論を深めていきたいと思えます。

進行役をさせていただくのは、毎度の登場になりますが、下村健一と申します。長く TBS の報道キャスターとして、いろいろな災害の現場に発災当日から入って取材していました。東日本大震災のときには民間登用の内閣審議官として、首相官邸内で内閣広報の仕事をしていました。そうした経験を踏まえた観点から、皆さんのお話に質問などもさせていただきたいと思っています。そして、今日も一緒に進行していただく平田先生、よろしくお願ひします。

（平田） 今日 2 時間たっぷり議論させていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。

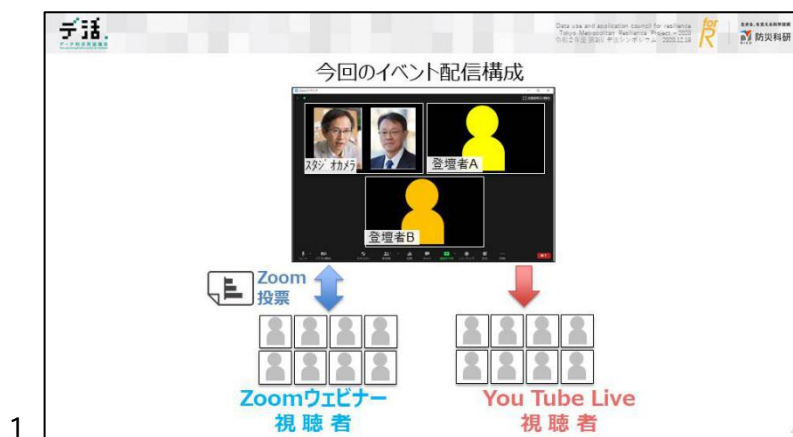
（司会：下村） 平田先生は、防災科研の首都圏レジリエンスプロジェクトの総括として、中心的な役割を担っていらっしゃいます。

早速ですが、皆さんの参加形態には 2 種類あるので、そのご紹介をした後、アンケートの取り方について先にご説明したいと思えます。今日は 2 通りの参加形

態がございます（図表 1）。一つは Zoom の Webinar でご覧いただいている皆さんです。事前の申し込みでは約 450 人の方にこの方法でご視聴いただく、あるいはこれから入ってきていただくことになっています。その他に YouTube Live でも同時に配信しています。YouTube でご覧の方は、人数は青天井ですが、面白いのをやっているぞという情報が入ってくれば途中からでもどんどん入ってきていただければと思っています。

事前申し込みの上、Zoom Webinar でご覧いただいている皆さんには、途中で何回か Zoom 投票というアンケート調査をしたいと思っています。早速、練習をしてみましょう。練習を兼ねた第 0 問です（図表 2）。「あなたは、いまどこにいますか」、このシンポジウムをどこでご覧いただいているかということをお尋ねしたいと思います。北海道・東北エリアの方は 1 番、関東エリアの方は 2 番、中部エリアの方は 3 番、近畿・中国・四国エリアの方は 4 番、九州・沖縄エリアの方は 5 番、海外で視聴中の方は 6 番、それぞれの番号を押していただきたいと思ひます。Zoom 投票の小窓の中から当てはまるものをクリックしてください。その上で、小窓の一番下の「送信」をクリックすると事務局にデータが届きます。それをすぐに集計して皆さんと共有したいと思います。

YouTube Live でご覧の皆さんにはこの機能はないのですが、Zoom でご参加の皆さんには早速投票していただきたいと思ひます。既に手元の画面に結果が積み



上がってきています。最終的に結果が出ましたら皆さんにも共有します。送信ボタンを押していただけましたか。

今年度からこのシステムを取り入れ、かなりいろいろなところで聴いてくださっている感じはありますが、昨年度までは東京の会場で、部屋の中だけでやっているときよりも大きく広がりましたよね。

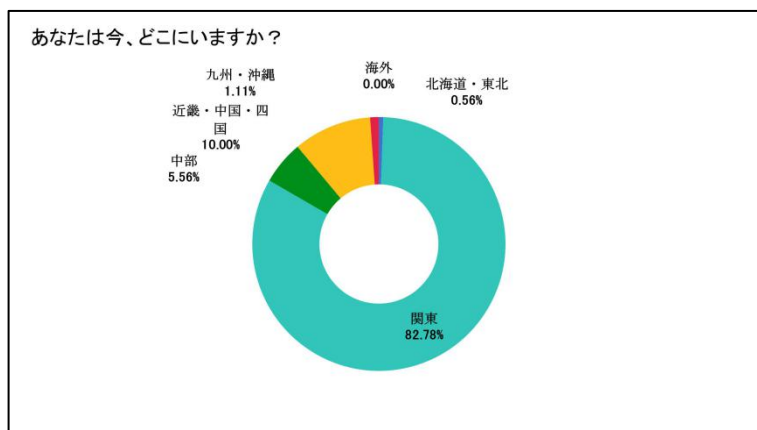
(平田) そうですね。私たちは仕方なくオンラインでやっている面もありますが、遠方の方に参加していただくにはなかなかいい仕組みだと思っています。

(司会：下村) しかも、われわれのテーマは防災です。災害のとき、人は動けなくなることもありますから、そのようなときにいちいち東京に集まらなければ何かできないわけではないということのをわれわれなりに経験を積んでいく意味でも非常に大切な、いわばリハーサルを兼ねている感じになっています。

(平田) そうですね。

(司会：下村) 結果が出ました。やはり関東エリアが多いです(図表 3)。82%の方が関東エリアでご覧いただいております、中部が5%、近畿・中国・四国が10%、九州・沖縄が1%、北海道・東北が少ないです。今は雪下ろしで大変かもしれません。

(平田) そうかもしれませんね。そのような状況でも見ていただいている方がいるのは大変心強いです。



3

(司会：下村) ぜひ全国からご覧いただきたいと思います。この後、折に触れて、「このようなことを皆さんにお尋ねしたいのですがいかがでしょうか」とこちらから呼び掛けますので、その都度今と同じ要領で番号のクリックでお答えいただければと思います。

これから、いよいよ本題に入っていきますが、現在の雪の状況がかなり深刻なことになっていますので、今一度、少しだけ情報をお伝えします。豪雪も当然われわれ防災科研が取り上げる災害の大きな一つです。一昨日からの雪で、新潟・群馬県境では 12 月としては観測史上最大の積雪になっています。アーカイブで後に本シンポジウムの動画をご覧いただく方には、あ那时的の話かという形になってしまいますが、今ご覧の皆さん、関越自動車道では上り下り合わせてピーク時に 1000 台が身動きの取れない状況になっています。恐らくチェーンを巻いていない車が動けなくなったことをきっかけに、こうなったのではないかと思います。

地球温暖化でなぜ雪かと思うかもしれませんが、要するに変動の触れ幅が大きくなっているということです。だから、こういう極端な現象が起きてしまうということです。長岡にある防災科研の雪氷防災研究センターの山口主任研究員からもこのことでコメントをお寄せいただいています。防災科研では、豪雪というテーマにも真正面から取り組んでいきます。